

第3学年

	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知・技】	95点以上 自然の事物・事象の性質や規則性を深く理解し、目的に応じて器具や機器を正しく扱いながら観察や実験を行い、過程や結果を分かりやすく記録している。	65点以上 自然の事物・事象の性質や規則性を理解し、目的に応じて器具や機器を正しく扱いながら観察や実験を行い、過程や結果を記録している。	テスト、ノート、発言、発表等
【思・判・表】	自然の事物・事象の性質や規則性について、生活経験を振り返りながら差異点や共通点を基に問題を見出し、問題解決している。	自然の事物・事象の性質や規則性について、差異点や共通点を基に問題を見出し、問題解決している。	テスト、ノート、発言、発表等
【態】	主体的に問題を解決するとともに、粘り強く問題解決しようとし、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	粘り強く問題解決しようとして、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	ノート、発言、発表等

月	単元名・教材名・時数・指導目標	評価規準
4	<p>1 しそんのかんさつ (指導時期4 月・4時間) 生きものすがた</p> <p>身の回りの生物を探す中で、それらの様子に着目して、それらの様子を比較しながら、生物の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようになる。</p> <p>●生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。□ ●身の回りの生物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、生物の姿についての問題を見いだし、表現すること。□</p>	<p>【知・技】 生物の姿について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>【思・判・表】 生物の姿について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 生物の姿についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 生物の姿について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

4-5	<p>2 植物の育ち方①たねまき (指導時期 4~5月・6時間) □</p> <p>植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●植物の育ち方には一定の順序があること。また、その体は根、茎及び葉からできていること。□ ●植物の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見いだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 子葉が出た後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 植物の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
5-6	<p>3 こん虫の育ち方 (指導時期 5~6月・10時間)</p> <p>昆虫の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の昆虫を比較しながら昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昆虫の育ち方には一定の順序があること。また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。□ ●昆虫の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、昆虫の成長のきまりや体のつくりについての問題を見いだし、表現すること。 	<p>【知・技】 昆虫の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 昆虫の成長について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 昆虫の体のつくりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 身の回りの生物についての事物・事象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。昆虫の成長や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
6	<p>◎植物の育ち方②葉がふえたころ (指導時期 6月・1時間)</p> <p>植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●植物の育ち方には一定の順序があること。□ ●植物の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見いだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>【思・判・表】 -</p> <p>【態】 -</p>

6	<p>4 ゴムと風の力のはたらき (指導時期 6月・7時間)</p> <p>ゴムと風の力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら、ゴムと風の力の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゴムの力は、物を動かすことができること。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。□ ●風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。□ ●ゴムと風の力で物が動く様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、ゴムと風の力の働きについての問題を見いだし、表現すること。□
7	<p>5 音のふしぎ (指導時期 7月・6時間)</p> <p>音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること。また、音の大きさが変わると物の震え方が変わること。□ ●音を出したときの震え方の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、音の性質についての問題を見いだし、表現すること。□

7	<p>◎植物の育ち方③花 (指導時期 7月・2時間)</p> <p>植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現する態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●植物の育ち方には一定の順序があること。□ ●植物の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見いだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 花が咲いた植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>【思・判・表】 -</p> <p>【態】 -</p>
9	<p>6 動物のすみか (指導時期 9月・4時間)</p> <p>身の回りの動物を探す中で、これらの様子や周辺の環境に着目して、それらを比較しながら、生物と環境との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現する態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生物は、その周辺の環境と関わって生きていること。□ ●身の回りの生物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、身の回りの生物と環境との関わりについての問題を見いだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 生物と環境との関わりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 生物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。生物と環境との関わりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。生物と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
9-10	<p>◎植物の育ち方④花がさいた後 (指導時期 9~10月・4時間)</p> <p>植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現する態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●植物の育ち方には一定の順序があること。□ ●植物の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見いだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 花が咲いた後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。植物の育ち方には一定の順序があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 植物の育ち方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 植物の育ち方や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

10-11 7 地面のようすと太陽 (指導時期10月～11月・9時間) 太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の地面の様子に着目して、比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。	<p>【知・技】 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。太陽と日陰や影の位置の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 太陽と日陰や影の位置の変化について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。太陽と日陰や影の位置の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
11 8 太陽の光 (指導時期11月・7時間) 光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うができるようする。 ●日光は直進し、集めたり反射させたりできること。 ●物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わること。 ●光を当てたときの明るさや暖かさの様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、光の性質についての問題を見いだし、表現すること。	<p>【知・技】 日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 光の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

11-12 9 電気の通り道 (指導時期11~12月・9時間) 乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養う都能够するようとする。 ●電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があること。□ ●電気を通す物と通さない物があること。□ ●乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、電気の回路についての問題を見いだし、表現すること。□	<p>【知・技】 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。電気を通すつなぎ方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。電気を通す物と通さない物があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。電気の回路について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 電気を通すつなぎ方についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
1-2 10 じしゃくのふしぎ (指導時期 1 ~ 2月・8時間) 磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること。また、磁石に近付けると磁石になる物があること。□ ●磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと。□ ●磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、磁石の性質についての問題を見いだし、表現すること。□	<p>【知・技】 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。 磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 磁石の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

2・3 月	<p>11 ものの重さ (指導時期 2～3月・6時間) 物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物は、形が変わっても重さは変わらないこと。□ ●物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。□ ●物の形や体積と重さとの関係について追究する中で、差異点や共通点を基に、物の性質についての問題を見いだし、表現すること。□
3月	<p>◎おもちゃショーを開こう！ (指導時期 3月・3時間) ゴムと風の力、音のふしぎ、電気の通り道、じしゃくのふしぎについて、学んだことを、ものづくりに生かすことができるようする。</p>

第4学年

	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知・技】	95点以上 自然の事物・現象の性質や規則性を理解し、目的に応じて器具や機器を正しく扱いながら観察や実験を行い、過程や結果を分かりやすく記録している。	65点以上 自然の事物・現象の性質や規則性を理解し、適切に観察・実験を行い、課程や結果を記録する技能を身に付けている。	テスト、ノート、発言、発表等
【思・判・表】	自然の事物・現象の性質や規則性について、理科の見方・考え方を働かせ、既習内容や生活経験から根拠ある予想や仮説を立て、問題解決している。	自然の事物・現象の性質や規則性について、既習内容や生活経験から根拠ある予想や仮説を立て、問題解決している。	テスト、ノート、発言、発表等
【態】	主体的に問題を解決するとともに、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	粘り強く問題解決に取り組み、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	ノート、発言、発表等

月	単元名・教材名・時数・指導目標	評価標準
4	<p>◎季節と生物①春の始まり (指導時期 4月・1時間)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ 	<p>【知・技】</p> <p>-</p> <p>【思・判・表】</p> <p>-</p> <p>【態】</p> <p>身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>

4	<p>1 天気と気温 (指導時期 4月・7時間)</p> <p>天気について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。天気によつて1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。</p> <p>●天気によつて1日の気温の変化の仕方に違いがあること。□</p> <p>●天気の様子について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、天気の様子と気温の関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□</p>
5	<p>2 季節と生物②春 (指導時期 5月・7時間)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <p>●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□</p> <p>●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□</p> <p>●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□</p>
	<p>【知・技】</p> <p>春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>身近な動物や植物について見いたした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】</p> <p>春の身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>

5-6	<p>3 電池のはたらき (指導時期 5～6月・8時間) 電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて、電流の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること。□ ●電流の働きについて追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□
6	<p>4 とじこめた空気や水 (指導時期 6月・6時間) 体積や圧し返す力の変化に着目して、それらと圧す力を関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●閉じこめた空気を圧すと、体積は小さくなるが、圧し返す力は大きくなること。□ ●閉じこめた空気は圧し縮められるが、水は圧し縮められないこと。□ ●空気と水の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、空気と水の体積や圧し返す力の変化と圧す力との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□

7	<p>◎季節と生物③夏 (指導時期 7月・5時間) 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違があること。□ ●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違があること。□ ●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ 	<p>【知・技】 夏の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。夏の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。夏の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	<p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> -
7	<p>◎星や月①星の明るさや色 (指導時期 7月・3時間) 星の明るさや色に着目して、それらを比較しながら、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだし、問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空には、明るさや色の違う星があること。□ ●星の明るさや色について追究する中で、差異点や共通点を基に、星の特徴についての問題を見いだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。空には、明るさや色の違う星があることを理解している。</p>	<p>【思・判・表】 星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>【態】 星の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>

9 ◎季節と生物④夏の終わり (指導時期 9月・3時間) 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違があること。□ ●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違があること。□ ●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□	<p>【知・技】 夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。夏の終わりの身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。夏の終わりの育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>【思・判・表】 -</p> <p>【態】 -</p>
9-10 5 雨水のゆくえ (指導時期 9～10月・10時間) 水の流れやしみ込み方、行方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさ、水の状態変化とを関係付けて、雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。□ ●水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違があること。□ ●水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと。また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあること。□ ●雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係、水の状態変化と水の行方との関係について根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□	<p>【知・技】 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違があることを理解している。自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について見いたした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。自然界の中の水の様子について見いたした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

10	<p>6 星や月②月と星の位置の変化 (指導時期10月・8時間)</p> <p>月や星の位置の変化に着目して、それらを関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わること。□ ●星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わること。□ ●月や星の特徴について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、月や星の位置の変化と時間の経過との関係について根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ 	<p>【知・技】</p> <p>月の特徴について、器具や機器をなど正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>月の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>【態】</p> <p>月の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。月や星の特徴について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
10-11	<p>7 わたしたちの体と運動 (指導時期10~11月・8時間)</p> <p>骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人の体には骨と筋肉があること。□ ●人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによること。□ ●人や他の動物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、人や他の動物の骨や筋肉のつくりと働きについて、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ 	<p>【知・技】</p> <p>人の体には骨と筋肉があることを理解している。人や他の動物の体について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>人や他の動物の体について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。人や他の動物の体について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>【態】</p> <p>人や他の動物の体についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

11	<p>◎季節と生物⑤秋 (指導時期11月・3時間) 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□
11-12	<p>8 ものの温度と体積 (指導時期11~12月・7時間) 体積の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わることがあること。□ ●金属、水及び空気の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□

12	<p>◎星や月③冬の星 (指導時期12月・2時間)</p> <p>冬の星に着目して、それらを関係付けて、冬の星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空には、明るさや色の違う星があること。□ ●星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わること。□ ●冬の星の特徴について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、星の位置の変化と時間の経過との関係について根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ 	<p>【知・技】</p> <p>-</p> <p>【思・判・表】</p> <p>-</p> <p>【態】</p> <p>星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
1	<p>◎季節と生物⑥冬 (指導時期1月・5時間)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ 	<p>【知・技】</p> <p>冬の身近な動物の活動について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。冬の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。冬の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること、また、植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】</p> <p>身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

1-2	<p>9 もののあたまり方 (指導時期1～2月・8時間) 熱の伝わり方に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること。□ ●金属、水及び空気の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、金属、水及び空気の熱の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□
2-3	<p>【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。水は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 金属の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 金属の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
	<p>10 すがたを変える水 (指導時期 2～3月・8時間) 状態の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水は、温度によって水蒸気や氷に変わること。また、水が氷になると体積が増えること。□ ●水の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、水の温度を変化させたときの体積や状態の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□ <p>【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 水の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

3 ◎季節と生物⑦春のおとずれ (指導時期 3月・1時間) 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。□ ●身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。□	<p>【知・技】</p> <p>-</p> <p>【思・判・表】</p> <p>-</p> <p>【態】 身近な動物や植物について一年間を通して学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	--

第5学年

	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知・技】	テスト95点以上 ものの性質や規則性を正しく理解し、目的に応じて器具や機器を適切に選択しながら調べ、過程や結果を的確に記録する技能を身に付けている。	テスト65点以上 ものの性質や規則性を理解し、目的に応じて器具や機器を選択しながら調べ、過程や結果を適切に記録する技能を身に付けている。	テスト、ノート、発言、発表等
【思・判・表】	テスト95点以上 自然の事物や現象について、観察、実験の方法を考え、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、問題解決している。	テスト65点以上 自然の事物や現象について観察、実験を行い、予想や仮説から解決の方法を考え、問題解決している。	テスト、ノート、発言、発表等
【態】	粘り強く問題を解決しようと努力し、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	主体的に問題を解決するとともに、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	ノート、発言、発表等

月	単元名・教材名・時数・指導目標	評価規準
4-5	1 天気と情報①天気の変化 (指導時期 4～5月・9時間) 雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●天気の変化は、雲の量や動きと関係があること。 ●天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。□ ●天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	<p>【知・技】 天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。天気の変化の仕方にについて見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
5-6	2 生命のつながり①植物の発芽と成長 (指導時期 5～6月・11時間) 発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。 ●植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること。□ ●植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。□ ●植物の育ち方について追究する中で、植物の発芽、成長とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。□	<p>【知・技】 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している植物の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている</p>

6-7	<p>3 生命のつながり②メダカのたんじょう (指導時期 6～7月・8時間) 魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●魚には雌雄があることを見いだした。魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。 ●魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中のようすが変化してかえること。□ ●動物の発生や成長について追究する中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。□
7	<p>4 天気と情報②台風と防災 (指導時期 7月・4時間) 雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。□ ●天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。
9	<p>5 生命のつながり③植物の実や種子のでき方 (指導時期 9月・7時間) 結実の様子に着目して、それに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができる。□ ●植物の育ち方について追究する中で、植物の結実とそれに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。
	<p>【知・技】 魚には雌雄があることを理解している。魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。魚の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p> <p>【知・技】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p> <p>【知・技】 植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができる。□</p> <p>【思・判・表】 植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

9-10	<p>6 流れる水のはたらきと土地の変化 (指導時期 9~10月・12時間) □</p> <p>流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。□ ●川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。□ ●雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。□ ●流れる水の働きについて追究する中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。□
10-11	<p>7 ものの溶け方 (指導時期 10~11月・12時間)</p> <p>物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。□ ●物が水に溶ける量には、限度があること。□ ●物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。□ ●物の溶け方について追究する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。□

11-12 8 振り子の性質 (指導時期11~12月・9時間) 振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによって変わらないが、振り子の長さによって変わること。□ ●振り子の運動の規則性について追究する中で、振り子が1往復する時間に関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。□	<p>【知・技】 振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによって変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
1-2 9 電磁石の性質 (指導時期 1~2月・11時間) □ 電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。 ●電磁石がつくる磁力について追究する中で、電流がつくる磁力の強さに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。 ●電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わること。□ ●電流がつくる磁力について追究する中で、電流がつくる磁力の強さに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	<p>【知・技】 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
2-3 10 生命のつながり④人のたんじょう (指導時期 2~3月・8時間) 人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●人は、母体内で成長して生まれること。□ ●動物の発生や成長について追究する中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。□	<p>【知・技】 人の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。人は、母体内で成長して生まれることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 人の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。人の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 人の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。人の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

第6学年

	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知・技】	95点以上 ものの性質や規則性を理解し、目的に応じて器具や機器を選択しながら調べ、協働して、過程や結果を工夫しながら適切に記録したりまとめたりする技能を身に付けている。	70点以上 ものの性質や規則性を理解し、目的に応じて器具や機器を選択しながら調べ、過程や結果を適切に記録する技能を身に付けている。	・ワークテスト ・ノート
【思・判・表】	自然の事物・現象について観察、実験を行い、既習事項や身の回りの生活と比べたり発展させたりしながら考えを共有し、妥当な結論を導き、問題解決をしている。	自然の事物・現象について観察、実験を行い、より妥当な結論を導き問題解決している。	・ノート ・発言
【態】	主体的に問題を解決するとともに、他者と関わりながら、既習事項や身の回りの生活と比べながら学習や生活に生かそうとしている。	主体的に問題を解決するとともに、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	

月	単元名・教材名・時数・指導目標	評価規準
4-5	1 ものの燃え方 (指導時期 4～5月・9時間) □ 空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考え方をつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること。□ ●燃焼の仕組みについて追究する中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考え方をつくりだし、表現すること。□	【知・技】 燃焼の仕組みについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 【思・判・表】 燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。燃焼の仕組みについて、観察、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考え方をつくりだし、表現するなどして問題解決している。 【態】 燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
5	2 植物の体のつくりとはたらき①日光との関わり (指導時期 5月・5時間) 植物の体のつくりと葉で養分をつくる働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考え方をつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。 ●植物の葉に日光が当たるとデンプンができること。□ ●植物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくり及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考え方をつくりだし、表現すること。□	【知・技】 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。植物の葉に日光が当たるとデンプンができるなどを理解している。 【思・判・表】 植物の体のつくりと働きについて問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考え方をつくりだし、表現するなどして問題解決している。 【態】 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

5-6 3 人やほかの動物の体のつくりとはたらき (指導時期 5~6月・10時間) □ 体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、人や他の動物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。□ ●体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること。□ ●食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかつた物は排出されること。□ ●血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること。□ ●体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があること。□ ●人や他の動物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。□	<p>【知・技】 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかつた物は排出されることを理解している。血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
6 4 植物の体のつくりとはたらき②水との関わり (指導時期 6月・5時間) 植物の体のつくりと体内の水などの行方に着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考え方をつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。 ●根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されること。□ ●植物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくり、体内の水などの行方について、より妥当な考え方をつくりだし、表現すること。□	<p>【知・技】 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>【思・判・表】 植物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと体内の水などの行方について、より妥当な考え方をつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

7	<p>5 生物と地球環境 (指導時期 7月・8時間)</p> <p>生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生物と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだし力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。□ ●生物の間には、食う食われるという関係があること。□ ●生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 生物と周囲の環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。生物は、空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。生物は、水を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。水が循環していることを理解している。</p>
		<p>【思・判・表】 生物と周囲の環境について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。生物と周囲の環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と周囲の環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
		<p>【態】 生物と周囲の環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。生物と周囲の環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
9	<p>6 月と太陽 (指導時期 9月・7時間)</p> <p>月と太陽の位置に着目して、これらの位置関係を多面的に調べる活動を通して、月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月の輝いている側に太陽があること。また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること。□ ●月の形の見え方について追究する中で、月の位置の形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。</p>
		<p>【思・判・表】 月の形の見え方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。月の形の見え方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
		<p>【態】 月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
9-10	<p>7 水よう液の性質 (指導時期 9～10月・11時間)</p> <p>水に溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して、水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようとする。□</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること。□ ●水溶液には、気体が溶けているものがあること。□ ●水溶液には、金属を変化させるものがあること。□ ●水溶液の性質や働きについて追究する中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。□ 	<p>【知・技】 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。</p>
		<p>【思・判・表】 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などを行い、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。水溶液の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、土地のでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p>
		<p>【態】 水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>

10-11	<p>8 土地のつくりと変化 (指導時期10~11月・12時間)</p> <p>土地やその中に含まれている物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変化についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること。また、層には化石が含まれているものがあること。<input type="checkbox"/> ●地層は、流れる水の働きや火山の噴火によって変化すること。<input type="checkbox"/> ●土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。<input type="checkbox"/> ●土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。<input type="checkbox"/> 	<p>【知・技】 土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。土地のつくりと変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。地層は、流れる水の働きによってできることを理解している。地層は、火山の噴火によってできることを理解している。土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。</p> <p>【思・判・表】 土地のつくりと変化について問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、土地のつくりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
11-12	<p>9 てこのはたらき (指導時期11~12月・10時間)</p> <p>加える力の位置や大きさに着目して、これらの条件とこの働きとの関係を多面的に調べる活動を通して、てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があること。<input type="checkbox"/> ●身の回りには、てこの規則性を利用した道具があること。<input type="checkbox"/> ●てこの規則性について追究する中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。<input type="checkbox"/> 	<p>【知・技】 てこの規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 てこの規則性について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。てこの規則性について、観察、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
1-2	<p>10 私たちの生活と電気 (指導時期 1~2月・10時間)</p> <p>電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、発電や蓄電、電気の変換についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだし力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができます。<input type="checkbox"/> ●電気は、光、音、熱、運動などに変換することができます。<input type="checkbox"/> ●身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があること。<input type="checkbox"/> ●電気の性質や働きについて追究する中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。<input type="checkbox"/> 	<p>【知・技】 電気は、つくりだすことができることを理解している。電気は、蓄えることができることを理解している。電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。電気の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 電気の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。電気の性質や働きについて、観察、実験などを行い、電気の量と働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 発電についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

<p>2-3 11 かけがえのない地球環境 (指導時期 2~3月・7時間) 生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、人の生活と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考え方をつくりだす力や命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようになる。 ●人は、環境と関わり、工夫して生活していること。□ ●生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考え方をつくりだし、表現すること。□</p>	<p>【知・技】 生物と地球環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 生物と地球環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と地球環境との関わりについて、より妥当な考え方をつくりだし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>【態】 生物と地球環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。生物と地球環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--